

FUJI 富士 UNIV.

富士大学広報誌

FUJI UNIVERSITY INFORMATION

■ 大学院 / 経済・経営システム研究科 ■ 経済学部 / 経済学科・経営法学科

2020.1.15

No.48

建学の精神

本学の教育理念は、人類の築き上げつつある学術文化を研究・教授し、深い教養と総合的判断力をもった豊かな人間性を養うことによって、平和的かつ創造的な文化の向上と活力ある社会の発展に寄与する人材を育成することにある。この理念に基づき、特に地球的・国際的視野の涵養、創造的・実践的知性の開発、自発的・奉仕的精神の体得を目標として、心身ともに健全な学生の育成を期する。

本学のモットー

思索と行動は人生の双つの翼だ



富士大学

〒025-8501 岩手県花巻市下根子 450-3 TEL0198-23-6221・FAX0198-23-5818

今年4年目となる公開授業「地域創生論」は7月18日、最終授業となる第15回目を「地域創生の実現に向けてー地方（地域）創生政策の評価と今後の課題を見出すー」と題してシンポジウムを行いました。パネリストとして岩手県副知事の千葉茂樹氏と岩手日報社編集局報道部次長の鹿糠敏和氏をお迎えしました。コーディネーターは岡田学長が務めました。

2016年に始まる国の地方（地域）創生政策は、今年で5年目を迎えます。今年度の公開講座「地域創生論」においてもこれまで各界から14名の講師にお越しいただき、それぞれの立場から地域創生を語っていただきました。冒頭、その最終回として行われる本日のシンポジウムのねらいについて岡田学長から、「地域創生は一つの政策である。私たちは今度どう役割を果たしていかなければならないか。今回はシンポジウム形式で、2名のパネリストから情報提供をいただき、この時点でこれまでの政策の評価と今後の課題を考えていく。そして地域創生の実現に向けて、会場の学生や一般受講者とパネリスト、またパネリスト同士での意見交換をいただき、将来の県政等で反映いただきたいと思います」との説明がありました。

シンポジウムでは、パネリストの岩手県の千葉副知事から「岩手県のふるさと振興の取組」という観点で岩手県の地域創生政策に関する情報提供を、そして岩手日報社の鹿糠報道部次長からはジャーナリストの視点から「地方の今、未来～岩手の現場から地方創生を考える～」というテーマで話題を提供していただきました。

これを受けてフロアーの受講者から、国際便の運航が始まったいわて花巻空港の現状と課題、若者への新規就農への支援、これまでの地域創生政策の評価、SDGsに関する岩手県の取組み等に関する質問が出され、パネリストとの間で活発な意見交換がなされました。

最後にまとめとして、岡田学長から、地域創生といっても行政にまかせるのではなく市民一人ひとりが主体的に参加することが大事であること、そのためにその意識をもって学び生活をおくる人をつくる教育が必要であること、そして地域創生の環境を作るために企業、大学、地域、行政等の連携が重要であること等が確認され、今年度最終回の「地域創生論」の授業を締めくくりました。



千葉茂樹副知事



鹿糠敏和と岩手日報社報道部次長

富士大学大学院東北税理士会 夏季集中講義が開催されました



「第9回富士大学大学院東北税理士会夏季集中講義」が9月13日、視聴覚教室にて行われました。

演題：《午前》

「混合測定会計の意義と論理」

富士大学 高坂 紀広講師

《午後》

「租税法理論と租税回避事例の検証」

富士大学大学院 客員教授 柳 裕治 先生

ご参加して下さった皆様、誠にありがとうございました。

第29回 外国人による日本語 スピーチコンテストに参加しました

10月23日（水）、盛岡市のプラザおでって（盛岡市観光文化交流センター）にて、「第29回外国人によるスピーチコンテスト（主催：盛岡ゾンタクラブ）」が開催され、本学からは中国人留学生4名（経営法学科1名、大学院科目等履修生3名）が参加し、中国と日本の文化の違いなど、留学生が日本に来て感じたことを5分間のスピーチで発表しました。大学院科目等履修生の王喆（オウテツ）さんが優秀賞のひとつ、エフエム岩手賞を受賞しました。



左から蘇曉倩さん、曹逢春さん（経営法学科）、王喆さん、呂玉環さん

日本会計研究学会 第96回東北部会が本学で開催されました

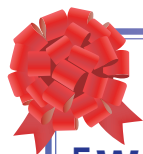


8月10日（土）に日本会計研究学会 第96回東北部会が本学を会場校として開催され、2つの研究報告と1つの特別講演を行いました。

第1報告は、本学の高坂紀広講師の混合測定会計に関する報告、第2報告は、千葉経済大学佐藤恵先生のリース会計に関する報告となっており、報告後の質疑も活発に行われました。

研究報告の後は、中央大学上野清貴先生から「会計の科学と論理ー私の会計研究史ー」の題で特別講演をいただき、学び多き研究大会となりました。

本大会は、東北の先生方だけではなく、東京を中心に関東から多数の先生方が多数参加し、盛況となりました。



「Wild Cup 2019」 2年連続受賞!!



8月9日、岩手県水産会館にて岩手県農林水産部が主催する政策提案型調査研究コンテスト「Wild Cup 2019」のプレゼンテーション審査が行われ、大学生グループ部門において、森田さくらさん（経営法学科4年・相澤ゼミ・秋田県立能代高校出身）が昨年に続き2年連続で大学生グループ部門賞を受賞しました。

今回受賞したテーマは、「岩手ざくざく雑穀ガチャ〜楽しく、おいしく、健康に!〜」です。

雑穀は10年前に一時ブームを迎え、その後生産量は徐々に減少しましたが、昨今、拡大傾向へと移行しています。それに反して、岩手県では生産量が年々縮小傾向となっているのが現状。その中でキビ、アワ、ヒエ、ハトムギ、タカキビ、アマランサスの6種類を栽培、生産しているのは全国を見ても岩手県のみであり、本テーマはこの強みを生かし事業展開することに着目し、ガチャを使った岩手県産雑穀の認知度向上、そして市場拡大による活性化を目的としています。

この政策提案型調査研究コンテスト「Wild Cup」は、今年度で4回目、大学生グループ部門は昨年度から2回目となります。今回、この部門に本学から4グループ、岩手県立大学4グループ、岩手大学1グループの計9グループが参加しました。

【発表テーマと発表者（富士大）】

「岩手ざくざく雑穀ガチャ〜楽しく、おいしく、健康に!〜」

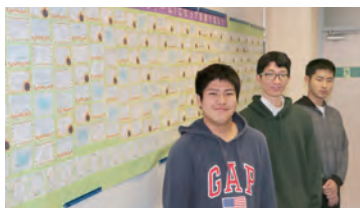
森田さくらさん（4年生・相澤専門演習Ⅱ）

「学食で地産地消!」小岩 重人さん、藤枝 恵さん、會田歩来人さん、
蝦名 楽久さん、遠山 悠太さん
（3年生・中村専門演習Ⅰ）

「リアスの恵みで肌と岩手に潤いを」工藤 大幹さん、柳畑 貴太さん、
吉田 健太さん、菅原 拓光さん
（3年生・相澤専門演習Ⅰ）

「栄養たっぷり! ホヤのサプリメント『ホヤホヤカプセル』の提案」

天羽 翔太さん、海沼 貴仁さん、小松 子竜さん
（4年生・相澤専門演習Ⅱ）

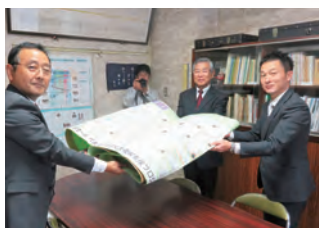


台風で被災した 丸森町児童へ 励ましのメッセージ

10月の台風19号により甚大な被害を受けた宮城県丸森町では、金山小学校が丸森小学校の校舎で授業をしています。この2つの小学校の児童へ、メッセージを集めて届けようといった企画が立ち上がりました。

この企画は、教職科目「社会科教育法Ⅳ」（佐々木義孝教授）を履修する3年生の相原壮典さん、遠山悠太さん、大沼拓也さんを中心に、被災した児童を元気づけたいという思いから発足されたもので、2週間ほどの募集で、学生約300人から応援のメッセージカードが集められました。3人が一枚の大きな紙にレイアウトし、完成間もない12月3日に佐々木教授と教務部の藤原研樹さんが丸森小学校へ持参し、菊地禎広校長先生にお渡ししました。

体育館は避難所となっており、復興には時間がかかる状況です。丸森町のみなさんをはじめ、被害を受けた方々に心からお見舞いを申し上げます。



富士大学学生の皆様

佐藤 純子

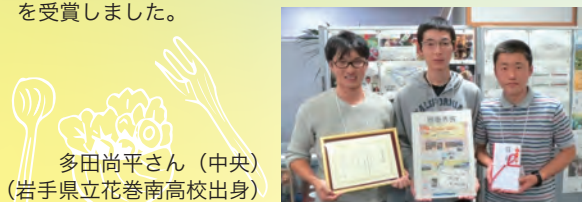
拝見。このメッセージカードは、丸森町に被災した児童に届けたいという思いから、3年生の相原壮典さん、遠山悠太さん、大沼拓也さんを中心に、被災した児童を元気づけたいという思いから発足されたもので、2週間ほどの募集で、学生約300人から応援のメッセージカードが集められました。3人が一枚の大きな紙にレイアウトし、完成間もない12月3日に佐々木教授と教務部の藤原研樹さんが丸森小学校へ持参し、菊地禎広校長先生にお渡ししました。

お礼状を頂きました

「いわてキボウスター開拓塾」 第6期生 最優秀賞を受賞!!

産学官で組織する「ふるさといわて創造協議会（COC+事業）」主催の「いわてキボウスター開拓塾」第6期生成果報告会が9月20日、盛岡市産学官連携研究センターで開催されました。

「キボウスター開拓塾」第6期生（2019年4月開始）に、本学からは経営法学科2年の多田尚平さんが参加。多田さんが所属したグループAGRI MIX（アグリミックス）は、野菜生産者と調理師、消費者をつなぎ、新たなコミュニティの場を作る目的としてランチタイムをプロデュース。将来展望や収支計画も考え実施したことを、「豊かな農・食産業を目指して、生産者・料理人・消費者をつなぐコミュニティサービス」というタイトルで発表し、第6期生トップとなる最優秀賞を受賞しました。



多田尚平さん（中央）
（岩手県立花巻南高校出身）

「本気先生の熱血授業」 南城小でキャリア教育



10月29日、花巻市立南城小学校6年生（2クラス61名）を対象に、児童が大学生の言葉に学ぶキャリア教育「本気先生の熱血授業」が行われ、硬式野球部2名、バドミントン部2名、女子バスケットボール部2名が講師として参加しました。自己紹介の後、それぞれの模範プレーを披露すると児童から歓声が上がリ、代表の児童と学生がプレーを行って交流を図りました。その後、各クラスに学生が3人ずつ分かれ、普段の授業や将来の夢に向けて心掛けていることなどについて話すと、児童は身近な大人である学生たちの言葉に熱心に耳を傾けていました。



11月27日には、ダンス同好会代表の高木惇志さん（2年）が2～5年生を対象にダンス披露を行い、好評を博しました。今後も、2～3年生を対象にダンス指導を行っていく予定です。

学生がボランティアを行っています。

- ◆「イーハトーブフォーラム2019（花巻市花火大会）」サッカー部
- ◆台風19号による土砂の撤去等（釜石市）柔道部
- ◆「鬼ツジョブ北上おしごとパーク2019（北上市）」サッカー部
- ◆「花巻市友好都市少年少女交流キャンプ」一般学生
- ◆「花巻市内50kmウォーク（市内小学生対象）」サッカー部
- ◆観光ボランティア 関上ゼミ

（主なものを掲載）



交換留学生の Abby Hanks (アビー ハンクス) さんが来学しました

12月10日～23日の日程で、花巻市の姉妹都市である米国ホットスプリングス市のナショナル・パーク・カレッジ（以下 NPC）2年生の Abby Hanks さんが交換留学で来学しました。

Abby さんは本学の講義体験や学生交流会、ホットスプリングス市と花巻市についてのディスカッション、ホームステイ、日本文化の体験を行いました。

学生交流会では、Abby さんから NPC やホットスプリングス市についてプレゼンテーションをしてもらいました。花巻市とホットスプリングス市の違いや、共通している点について英語で意見交換を行い、学生にとっても貴重な経験となりました。

Abby さんの異文化体験としては、そば打ちや生け花、着物体験などを行い、日本文化を肌で感じてもらえたようです。観光地巡りでは、世界文化遺産である中尊寺の見学や、^{げいげい} 狛鼻溪の川下り、花巻の宮沢賢治記念館や童話村を訪問しました。

ホットスプリングス市は温泉で有名な観光都市であり、それが縁で 1993 年から花巻市と姉妹都市提携を結んでいます。Abby さんは大沢温泉を訪れ、歴史ある建物や日本の温泉宿の雰囲気を感じていました。

この留学においては、花巻市国際交流室、花巻国際交流協会、ホームステイ協会の方々などからたくさんのサポートを頂き、充実した日々を過ごしました。3月には、NPC へ交換留学生として本学学生が渡米する予定になっています。今後も継続して異文化交流を推進していきたいと考えています。（異文化交流センター）



本学の学生が中国を訪問しました

本学の学部生 4 名と引率教員 2 名が、9 月 8 日～14 日の日程で「日本岩手県大学生訪中団」の一員として、大連・長春・北京を訪問しました。2019 年は「日中青少年交流推進年」であり、両国政府は今後も青少年交流を実施していくこととしています。今回の訪中は中国駐札幌総領事館の主催により中国政府招聘事業として、富士大学と岩手大学から 15 名の学生が参加しました。

現地では大連理工大学、吉林大学、吉林農業大学、中国最難関大学の清華大学の学生と交流し、日本人の先生による講義も受けました。有名な世界遺産である万里の長城や天壇なども見学しました。

本学の学生たちは、「宮沢賢治の故郷、花巻」と題してプレゼンテーションを行い、地元の花巻を中国の大学生に紹介し、好評を得ました。

学生たちは今回の訪中で、中国の生活や文化に直接触れる貴重な経験ができました。また、中国の大学生と接する中で、言葉と文化、考え方の違いを学びながら相互理解を深め、他言語や異文化に触れる有意義な機会となりました。人々が非常にフレンドリーで常に笑顔で対応してくれたことに非常に感謝しており、驚いたことは中国の学生の勤勉さで、自分の目標に向かってひたむきに努力している姿を見て大きな刺激を受けたということです。

本学は今後も継続してこうした交流を通じ、将来を担う若い世代の相互理解を深め、ひいては日中両国の発展につないでいけるようにしたいと考えています。（崔肅京教授）

本学からの参加者は次の通り：斎藤立樹（3 年）、鎌田もも子（2 年）、西山光平（2 年）、芳野安樹（2 年）（いずれも経済学科）。中村良則異文化交流センター長、崔肅京教授



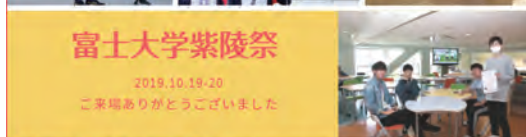
紫陵祭&オープンキャンパスが行われました

10月19日（土）・20日（日）の二日間にわたり、第53回紫陵祭&オープンキャンパスが行われました。1日目はあいにくの雨となってしまいましたが、2日目は秋晴れに恵まれました。

学友会のステージ企画、岩崎鬼剣舞、声優の三澤紗千香さんトークショー、芸能人お笑いライブ（サンシャインさん）には多数の来訪者があり、盛況となりました。

同時開催されたオープンキャンパスには、例年より多くの高校生とご家族が訪れ、本学の教員や学生たちに案内され学内を見学しました。

また、紫陵祭と同時開催した、「少年サッカー教室」、「大学院講演会」、「2019 年度第 2 回図書館公開講座」、「ジュニアテニス教室&医科学ミニ講座」、「第 2 回富士大学学長杯学童少年軟式野球大会」等の企画には多数のご参加をいただきました。ご来場くださいました皆様、ご協賛・ご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。



一戸町と協定を 結びました。



田中達也一戸町長と岡田学長

績を振り返りつつ、これからの地球・まちづくりは、SDGs で掲げる 17 の目標を一つの軸として、行政と住民が一体となって取組むことが必要としました。

今後は、町民の皆様のリクエストにお応えできるよう一戸町と連携・協力するとともに、サテライト事業を展開して参ります。

11月15日（金）、本学と岩手県一戸町は、地域創生を担う人材の育成と地域産業の発展を目指し、包括連携協定を締結しました。地域諸課題の解決と地域経済社会の持続的発展を図ることを目的に、学術、文化、教育、人材育成等の各分野に係る連携及び協力を推進するもので、内容は以下のとおりです。

- 1 地域創生を担う児童及び生徒への支援と地域を牽引する人材の育成
- 2 中山間地域の活性化に向けた産学官民連携の推進
- 3 循環型環境社会づくりに向けた諸課題への対応
- 4 御所野遺跡を含む縄文文化価値の理解醸成
- 5 高齢社会及び福祉社会の質向上に向けた諸課題への対応
- 6 一戸町における富士大学サテライト事業への相互協力

また同日、13 時 30 分からサテライト事業（包括連携協定締結キックオフ講演会）として、岡田学長による講演会を開催し、多数の町民の皆様に参加いただきました。

演題は「ローカルがつくる世界と地球の未来!!」。これまでの日本における地方創生政策とその成果・実績を振り返りつつ、これからの地球・まちづくりは、SDGs で掲げる 17 の目標を一つの軸として、行政と住民が一体となって取組むことが必要としました。

キャリアセンターの就職支援の取り組み

キャリアセンター副センター長 刈宿吉宏

富士大学では、「広く知識を世界に求め、深遠なる学術の研究と心身ともに健全なる人材の育成を期し、地域の発展に寄与する」という視点から、授業を大切にすること、学修の延長上に職業選択を考えることを重視しています。

そのため、大学独自の「イーハートブキャリアプラン」を策定し、キャリアセンターが各種キャリア教育と就職サポートを担っています。この体制により学年進行で行う体系的キャリア教育の展開が図られています。

これにより、本学の就職率・実就職率は、毎年全国でも高いランクを維持しており、平成 30 年度の実就職率は 96.4%となり、全国平均の 74.2%を大きく上回る実績を挙げることができました。また、就職者の中で公務員や株式を上場している優良企業等へ就職した者は 41.6%に達しています。

4 年生の就職状況は、三つの実践力（「社会を正しく生き抜く力」、「学んだ知識を活用する力」、「社会の一員として共生する力」）を備えた学生の力により、今年度も着実に内定の数を重ねており、就職率・実就職率は前年同様の良い結果となっていると考えています。

キャリアセンターでは、学生の就職目標達成のために、1 年次から計画的な支援を行い、4 年次でも各種講座・セミナー等を開設してきましたが、12 月以降は未内定者等、就職活動（以下「就活」）継続中の学生のために、個別の「就職支援相談会」を行います。

現3年生は2020年3月1日から就職活動が始まることになります。これに備え、キャリアセンターでは3年生を対象に、12月に「就活ファッションセミナー」「就活ガイダンス」、1月に「企業研究会」、3月に「就職セミナー」を開催するとともに、「金融志願者特別セミナー」「教員採用試験対策模試」「公務員採用試験対策模試」等を順次実施していきます。また、各種就職情報の収集・提供と相談活動を随時行っています。

1、2年の学生にとっては、今後、就活日程やルールがどうなるか大変気になるところですが、国や産業界の動向に注視して対応していく必要があります。そのような中であって、大切なことは、毎日の授業を大事にして、大学生としての基礎を作り、就職を意識して勉学に励むことです。学生のみなさんには、希望ある人生設計のため、知恵と精神力を培い、そしてしっかりとした勤労観を持ち、職業選択をしてほしいと思っています。

キャリアセンターは、就職支援活動を一層充実しながら全力で学生を応援してまいります。

就職活動

—夏のオープンキャンパス
での発表—

経営法学科4年 鈴木 彩
(山形：上山明新館高校出身)



富士大学には経済や経営に関する授業がたくさんあります。1年生で基礎を学び、2年生からは少しずつ発展した内容を学んでいきます。また、全ての学年でキャリア形成論という科目があり、就職のために必要な知識を学ぶことができます。社会人になったときに、どのようにお客さまのニーズに応えればよいか、どのようにすれば利益を得て会社の業績が向上するのかなどの知識が身につきました。他にも様々な授業があるので、自分の将来のために学びたいこと、興味がある分野について学べると思います。

私の場合は、将来何をしたいかまだはっきりしないまま、就職活動の時期が始まりました。エントリーシートの書き方など初めてのことばかりで、試験対策への不安がありました。そこで、私はキャリアセンターに通い、相談してみると、職員の方が親身になって詳しく教えてくださいました。やがて4年生になって、銀行員になりたいと思うようになりました。

先生方の協力もあり、安心して就職活動を行うことができ、大学での3年生までの学業成績や、部活動でがんばったことが評価され、第一希望の地元山形県の地方銀行から内々定をいただくことができました。

4年間という時間は長いようでとても短く感じます。私は学生生活や女子バスケットボール部の活動を通し、たくさんのことを学び、何より、共に目標に向かって頑張れる大切な仲間に出会うことができました。富士大学に入学してよかったと思っています。皆さんもこれからたくさんのことに挑戦し学んで、充実した学生生活を送ってほしいと思います。皆さんの夢が叶うのを願っています。



図書館 公開講座



富士大学図書館では、2019 年度に図書館公開講座を全 3 回実施しました。

第1回は7月15日（月・祝）、富谷市教育委員会図書館開館準備室参事の 新 出 氏を講師に迎え行われました。テーマは「これが北欧の図書館だ！世界トップクラス図書館の秘密を探る」。多目的に使用されている大規模図書館から、古い施設を利用した図書館、小さな図書館まで写真を交えながら紹介され、日本と海外の図書館との違いについて、北欧のフィンランド、デンマーク、スウェーデンの図書館へ実際に行って感じたことなどをお話していただきました。

第2回は9月28日（土）、「本が蘇る！図書製本講座」をテーマに、本学図書館職員の小原陽子氏が講師となり花巻市大迫総合支所にて開催しました。小原講師が今まで製本工房で学んできた図書の修理、修復の技術を一般の方に伝える機会となりました。

第3回は、10月20日（日・大学祭の2日目）、本学 PC ワークルームで鈴木晃彦教授が「高校生のための図書館活用講座 一筋の光をもとめて」をテーマに開講しました。

Results

FUJI UNIV. Sports Clubs 大会結果
2019.4.1～秋

()の数字は学年

剣道部

■東北学生剣道選手権大会・東北女子学生剣道選手権大会

5月12日(宮城:塩釜ガス体育館)
男子 中嶋康優(4)・日野利連(2) **4回戦進出**
女子 小林美結(3) **優勝**
全日本女子学生剣道選手権大会出場決定

■第53回全日本女子剣道選手権大会

6月29日(大阪府立体育館)

小林美結(3)
2回戦 ●小林 ード 池田(國田女子大学)○

■東北学生剣道優勝大会・東北女子学生剣道優勝大会

9月23日(宮城:塩釜ガス体育館)
男子 予選リーグ **2位** 決勝トーナメント **ベスト8**
女子 予選リーグ **2位** 決勝トーナメント **ベスト8**

硬式野球部

■北東北大学野球春季リーグ戦

4月20日～5月19日(花巻球場他)

6勝4敗 **第2位**

<個人賞> 最優秀選手賞 宇賀神陸哉(3)
最多盗塁賞 加藤 元氣(3)
最優秀防御率賞(0.61) 宇賀神陸哉(3)

<ベストナイン> 一塁手 加藤 元氣(3) 2回目
三塁手 丹野 涼介(4) 初

■北東北大学野球秋季リーグ戦 1部リーグ

8月25日～10月1日(岩手県営野球場他)

6勝4敗 **第2位**

<個人賞> 優秀選手賞 吉田 響(4) 初
最多盗塁賞 山城 誓(2) 初

<ベストナイン> 一塁手 宮里 青(4) 初

ゴルフ部

■関東大学春季Dブロック対抗戦

5月12～13日(栃木:杉ノ郷CC)

第3位

■関東女子大学春季Cブロック対抗戦

5月7～8日(栃木:セブンハンドレッドクラブ)

第4位

■関東女子大学秋季Cブロック対抗戦

9月5～6日(埼玉:こだまゴルフクラブ)

第4位(Cブロック残留)

サッカー部

■東北地区大学サッカーリーグ1部

5月12日～11月2日全18節(花巻スポーツキャンプむら他)
14戦5勝2分7敗 **5位**

■東北地区大学体育大会 サッカー競技

6月7日～11日(岩手県営運動公園陸上競技場他)

2回戦 対 福島大学 4-0

準々決勝 対 山形大学 1-0

準決勝 対 東北学院大学 2-2

延長 PK 3-4 **3位**

■総理大臣杯全日本大学サッカー選手権大会東北予選

7月6日～7月20日(みやぎ生協めぐみ野サッカー場他)

2回戦 対 福島大学 5-0

準々決勝 対 東日本国際大学 3-1

準決勝 対 東北学院大学 1-0

決勝 対 仙台大学 0-5 **準優勝**

■第46回東北総合体育大会サッカー競技成年男子

8月8日～8月11日(福島市あづま総合運動公園)

成年男子1回戦 対 宮城県 3-5 1回戦敗退

宮手県は富士大学学生と社会人選手の選抜チームで出場。

宮城県(JFL加盟ソニー仙台FC)と対戦し前半3-1

で折返すも逆転され3-5で敗れ初戦敗退。本学のメ

ンバーは次の通り:

吉田光希(2) 谷地朝日(3) 中川和彦(1)

村山悠太(4) 阿部亮太(1) 若村 豊(3)

松倉玄樹(3)

■東北社会人サッカーリーグ1部

4月14日～11月3日全18節(富士大学サッカー場他)

18戦7勝3分8敗 **4位**

■全国社会人サッカー選手権大会東北予選会

7月27日～29日(山形:鶴岡市小真木原運動公園ほか)

1回戦 対 クレハサッカー部 3-0

準決勝 対 コノリトレー女川 1-0

決勝 対 FC Sendai Univ 0-3 **準優勝**

柔道部

■東北学生柔道優勝大会

5月18日～19日(宮城県武道館)

女子団体戦 対 東北福祉大学 3-0

対 仙台大学 0-3 **準優勝**

■全日本学生柔道優勝大会

6月20日～23日(東京:日本武道館)

女子1回戦 対 武庫川女子大学 0-4

■全国青年大会柔道競技

11月9日～11月10日(東京:講道館)

在学生とOBでチーム岩手花巻としての出場

男子団体戦 **優勝**

個人戦 73kg級 天羽翔太(4) 第3位

90kg級 芳賀 匠(2) **優勝**

中村航輔(3) 第3位

無差別級 利田大明(1) **優勝**

菊池昌大(1) 第3位

準硬式野球部

■東北地区大学1部リーグ秋季リーグ戦

9月7日～10月5日(花巻球場・仙台市民球場他)

2勝5敗 **第6位**

入替戦 対 東北学院大学工学部 14-4 (1部残留)

女子ソフトボール部

■北海道・東北地区大学ソフトボール春季大会

4月27～28日(宮城:蔵王町総合運動公園)

準決勝 対 仙台大学A 8-0

決勝 対 東北福祉大学A 8-3 **優勝**

■北海道・東北地区大学ソフトボール選手権大会 兼

全日本大学ソフトボール選手権大会 北海道・東北地区予選会

5月11～12日(福島:郡山市ふるさとの森ソフトボール場)

決勝 対 東北福祉大学 2-4

■東日本大学ソフトボール選手権大会

7月6～8日(長野:富士塚スポーツ公園)

1回戦 対 桜美林大学 18-0

2回戦 対 淑徳大学 4-0

3回戦 対 早稲田大学 7-2

準決勝 対 清和大学 1-0

決勝 対 山梨学院大学 1-6 **準優勝**

■東北総合女子ソフトボール選手権大会 兼

全日本総合女子ソフトボール選手権大会東北予選会

7月13日(青森:新井田公園)

準決勝 対 スマイル福島 8-0

決勝 対 東北福祉大学 4-3

優勝 6年連続12回目 全日本総合女子選手権大会出場決定

■文部科学大臣杯全日本大学ソフトボール選手権大会

8月30日～9月2日(愛知:安城市運動公園ソフトボール場)

1回戦 対 九州共立大学 5-1

2回戦 対 山梨学院大学 0-1

(11回タイブレーク)

■全日本総合女子ソフトボール選手権大会

9月14～16日(鹿児島:知覧平和公園多目的球場)

1回戦 対 トヨタ自動車レッドテリアーズ 0-7

卓球部

■東北学生春季リーグ戦

5月18日～19日(宮城:塩釜ガス体育館)

男子I部リーグ **第5位**

女子II部リーグ **第2位**

■東北学生卓球選手権大会

6月8日～9日(花巻総合体育館)

男子ダブルス 鈴木晏樹(4)・木村 輔(3)組 **第3位**

■東北学生秋季リーグ戦

8月28～30日(福島:南相馬市スポーツセンター)

男子1部リーグ **第6位**

テニス部

■岩手県学生テニス選手権大会

6月8日～9日(岩手県立大学他)

男子シングルス 伊藤悠馬(3) **第3位**

男子ダブルス 大杉 礼(4)・伊藤悠馬(3)組 **第3位**

■岩手県学生新人トーナメント

11月16日～17日(岩手県立大学他)

男子シングルス 高橋陽向(1) **第3位**

男子ダブルス 高橋陽向(1)・鈴木悠也(1)組 **第3位**

バスケットボール部

■北奥羽地区大学春季バスケットボール大会

5月25～26日(岩手大学体育館)

男子準決勝 対 岩手大学 69-58

決勝 対 弘前大学 117-47

優勝

<最優秀選手賞> 三浦大和(4)

<優秀賞> 松本 航(4) 葛西尚樹(3)

<新人賞> 奥 大和(1)

女子準決勝 対 岩手大学 74-84

決勝 対 八戸学院大学 69-58

優勝

<最優秀選手賞> 鈴木 彩(4)

<優秀賞> 館岡果南(3) 佐々木菜摘(2)

■東北地区大学体育大会

6月28～30日(宮城:仙台大学)

男子準決勝 対 東北学院大学 76-97

第3位

女子準決勝 対 仙台大学 64-88

第3位

■東北大学バスケットボール部リーグ

10月18～20日(福島:あづま総合体育館)

男子3勝5敗 **第4位**

<優秀賞> 三浦大和(4)

<得点王> 三浦大和(4)

<3ポイント王> 三浦大和(4)

<アシスト王> 吉田慧冬(2)

バドミントン部

■東北学生バドミントン選手権大会

5月24日～30日(山形県体育館)

男子団体1部リーグ **2位** 全日本学生選手権出場権獲得

男子ダブルス 米山 拓(4)・小田桐綾(4)組 **第2位**

全日本学生選手権出場権獲得

菅原慎也(4)・早野寛太(3)組 **ベスト8**

■東北地区大学体育大会

6月29日～30日(福島:NCVふくしまアリーナ)

男子団体 決勝 対 東北学院大学 2-3 **第2位**

■東日本学生バドミントン選手権大会

8月30日～9月6日(北海道:北海きたえーる)

男子団体 対 神奈川大学 0-3

男子ダブルス 米山 拓(4)・小田桐綾(4)組 3回戦進出

男子シングルス 菅原慎也(4) 村井蓮弥(2) 3回戦進出

バレーボール部

■東北バレーボール大学春季リーグ

4月20～5月26日(秋田:横手市大森体育館他)

男子 2部リーグ **1位**

入替戦の結果により1部昇格

<優秀選手賞> 佐藤隼人(3)

■東北バレーボール大学秋季リーグ

9月21～10月20日(仙台大学体育館他)

男子 1部リーグ **8位**

ハンドボール部

■東北学生ハンドボール春季リーグ

5月15～19日(山形:東根市民体育館)

男子 男子1部リーグ **優勝**

<ベストセブン> 佐々木楓(3) 菊池 伶(2) 小田島丞(2)

女子 女子Aリーグ **優勝**

<得点王> 松岡南々(2)

<ベストセブン> 金田莉奈(4) 中村有希(2) 菅野 南(2)

男女とも東日本学生選手権大会出場決定

■東日本学生ハンドボール選手権大会

8月12～14日(富山市総合体育館他)

男子1戦目 対 北海学園大学 33-15

2戦目 対 金沢工業大学 40-25

3戦目 対 日本大学 24-36

2勝1敗 B組 **2位**

女子1戦目 対 東海大学札幌 33-15

2戦目 対 富山国際大学 25-25

3戦目 対 法政大学 19-14

2勝1分 a組 **1位**

女子は全日本学生選手権大会出場決定(13年連続13回目)

<個人表彰(特別賞)> 金田莉奈(4)

■東北学生ハンドボール秋季リーグ

9月21日～9月29日(仙台市体育館他)

男子 男子1部リーグ **第2位**

<ベストセブン> 大矢 樹(2) 川村勇斗(1)

女子 女子Aリーグ **第2位**

<ベストセブン> 松岡南々(2) 福岡南菜(2)

男女ともインカレ出場権獲得

陸上競技部

■東日本インカレ

5月17日～19日(宮城県総合運動公園)

男子1500m 菅田和馬(1) **第5位**

男子110mH 鈴木泰弘(2) **第6位**

男子円盤投げ 千田 凌(2) **第5位**

男子砲丸投げ 千田 凌(2) **第6位**

女子棒高跳 小西未樹(1) **第4位**

■北日本インカレ

7月19日～21日(北海道:円山公園陸上競技場)

男子1500m 菅田和馬(1) **第10位**

男子円盤投げ 千田 凌(2) **第12位**

男子砲丸投げ 千田 凌(2) **第13位**

■東北学生選手権大会

10月11日～13日(福島県営あづま陸上競技場)

男子5000m 菅田和馬(1) **優勝**

男子1500m 菅田和馬(1) **第3位**

剣道部 小林美結選手(3年)が東北女子学生剣道選手権大会で優勝

5月13日、第53回東北女子剣道選手権大会が開催され、剣道部3年の小林美結選手(盛岡南高校出身)が悲願の初優勝を果たし、第53回全日本女子学生剣道選手権大会及び第13回全日本女子学生剣道東西対抗試合に出場しました。東西対抗試合では、東軍代表に選出され、中堅として出場し、東軍が勝利しました。

選手最後の年となる来年度は、東北女子学生剣道選手権大会2連覇と、女子団体戦の全日本出場及び上位進出を目指します。



東北女子剣道選手権優勝 小林美結さん(3年)

佐々木安廣教授が柔道の世界ベテランズ選手権大会で優勝しました

本学柔道部長兼総監督の佐々木安廣教授が、10月10日～13日にアフリカ・モロッコのマケラシュで開催された世界ベテランズ選手権大会のM9(70～74歳)クラス66kg級で優勝しました。

1回戦は、ウクライナ選手に返し技で一本勝ちし、準決勝は優勝経験のあるイタリア選手を相手の反則により勝利を収めました。フランス選手と対戦した決勝戦では、小外刈りからの体落として技ありを奪い、さらに相手の体落としを切り返し一本勝ちで世界の頂点に立ちました。

約65年の競技歴で世界一に上り詰めた佐々木教授は「君が代を聞き感動した」と栄冠を喜びました。柔道部の学生も、「身近な佐々木先生が世界大会で優勝するなんてすごい。指導を受けられて光栄」と感激していました。



左から2番目が佐々木教授

サッカー部 木村選手 U-19 全日本大学選抜候補に選出

サッカー部1年の木村海渡選手(新潟県開志学園高校・アルビレックスU-18出身)が、6月29日～30日に千年の森J-Wingsスポーツセンター(群馬)にて行われた「Zeal Career 第4回関東大学サッカー連盟新人交流戦」に『U-19全日本大学選抜候補』選手として出場しました。北関東大学選抜戦と、次戦の千葉県大学選抜戦にスターティングメンバーで前半30分出場し、前線での起点となり貢献しました。東北地区から3名選出されたうちの一人であり、今後の活躍が期待されます。



第68回 全国青年大会 柔道競技で優勝しました



後列左より、平嶋孔輝監督(OB)、了戒駿斗(1)、斎藤龍河(1)、菊池昌大(1)、利田大明(1)
前列左より、天羽翔太(4)、黒澤啓太(1)、中村航輔(3)、芳賀匠(2)

11月10日、11日に東京都の講道館で行われた、全国青年大会柔道競技の団体戦において本学柔道部員で構成するチーム岩手花巻が優勝しました。同大会は昨年から学生の出場が可能となっています。

団体戦は11チームが出場し、岩手花巻は2回戦で北九州市(福岡)を3-1、準決勝で茨城連合を4-1で破り、決勝戦の糟屋郡(福岡)では0-1から四将の芳賀匠選手(2年・大曲高校)が勝って1-1とし、その後2人が引き分けとなり、大将の利田大明選手(1年・盛岡中央高校)が払い巻き込みから後ろけさ固めにつないで一本勝ちし、優勝を果たしました。

また、個人戦においても芳賀選手が90kg級、利田選手が無差別級でそれぞれ優勝しました。チーム岩手花巻の名前で優勝したことについて、佐々木安廣部長兼総監督は「花巻市民の応援に応えることができ、結果で地域に貢献できて良かった」と選手の活躍を喜びました。

第19回 全国高校生童話大賞

富士大学と花巻市、花巻市教育委員会が主催する「全国高校生童話大賞」は今年で19回を迎えました。

12月14日(土)15時から、花巻駅前なはんプラザにて表彰式を開催し、金賞1名・銀賞3名の受賞者と岩手県内の銅賞受賞者1名の5名の表彰を行いました。

15日(日)には受賞者とご家族を花巻市内研修旅行(宮沢賢治記念館・童話村等)へご案内しました。



(左から)
大城さん
廣見さん
藤川さん
梅村さん
岡本さん

- 金賞**「普通じゃない」藤川 諒子さん
徳島県立富岡東高等学校3年
- 銀賞**「二百円のおばけ」廣見 結菜さん
広島県福山院の星女子高等学校2年
- 「悲哀のひまわり」岡本 沙慧可さん
山口県梅光学院高等学校3年
- 「自販機」大城 涼佳さん
沖縄県立小禄高等学校2年
- 銅賞**「土澤駅」梅村 琴音さん
岩手県立一関第一高等学校1年



2020 年度入試案内

経済学部 / 経済学科・経営法学科

	推薦入試 指定校推薦 スポーツ推薦 公募推薦	地域・高大 連携協定校 特別入試	職業会計人・ 商業科教員養成 特待生入試	特待生入試 学力優秀者・資格取得者		一般入試		センター入試		編入・転入入試	留学生 入試
	II期			I期	II期	I期	II期	I期	II期	II期	
出願 期間	11/18(月) }	11/18(月) }	11/18(月) }	11/18(月) }	1/6(月) }	1/6(月) }	2/7(月) }	1/6(月) }	2/7(月) }	1/6(月) }	1/6(月) }
	12/6(金) 消印有効	12/6(金) 消印有効	12/6(金) 消印有効	12/6(金) 消印有効	2/5(金) 消印有効	2/5(金) 消印有効	2/28(金) 消印有効	2/5(金) 消印有効	2/28(金) 消印有効	2/5(金) 消印有効	2/5(金) 消印有効
試験会場	本学	本学・札幌	本学	本学		本学・仙台・東京		———		本学	本学
試験日	11/1(金)	12/13(金)	12/13(金)	12/13(金)	2/14(金)	2/14(金)	3/9(月)	大学入試センター試験 2020年1/18(土)・1/19(日)		2/14(金)	2/14(金)

※詳しくは「富士大学入学選抜実施要項・入学願書 2020」またはウェブサイトをご覧ください。

高等教育の修学支援新制度 (高等教育無償化)の対象大学に 認定されました。

この度本学は、文部科学省より「大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）」の対象機関となる大学として認定されました。

この法律は、授業料・入学金の減免や、返還を要しない給付型奨学金により、意欲ある子供たちの大学等への進学を支援するものです。

今回対象機関として認定されたことにより、令和2年4月より本学に入学する学生及び在学学生は、所定の要件を満たすことにより、授業料・入学金の減免や給付型奨学金の支給を受けることができます。

公式ウェブサイト・広報誌のほかにも情報を発信しています



facebook

富士大学広報係
日常の出来事やお知らせなど



大学情報番組

富士大ウィングス
毎年6月～8月まで放送のミニ番組



youtube

富士大学広報
CMや過去の富士大ウィングスなど



Instagram

女子学生広報グループが日常
LIFEをお届けします！



twitter

富士大学事務局
番組放映のお知らせや事務連絡

Fの経済学 放送しました



富士大学の学生が、岩手県の地域経済や、日頃疑問に思っていることについてナビゲートするミニ番組「Fの経済学（経済学ガールの冒険）」。

10月6日から11月10日までの毎週日曜日朝8:55より全5回、岩手めんこいテレビにて放送しました。Youtube富士大学広報チャンネルにてご覧いただけます。



うらさわ まひと

浦澤真人さん

Mahito Urasawa

コルジャ仙台

ブラインドサッカークラブ 代表

●出身：仙台市立仙台商業高校

●平成8年

経済学部経済学科卒



一番右が浦澤さん

皆さんは「ブラインドサッカー」という競技をご存知でしょうか？

正式名称は「視覚障害者5人制サッカー」といい、2004年のアテネパラリンピックから正式種目となりました。私は仙台を拠点に活動するブラインドサッカーチーム「コルジャ仙台」に2013年より携わっており、現在は代表として、ブラインドサッカーの普及・認知とともに、社会の中で視覚障害者への理解が進むように取り組んでいます。

学生時代は手形小切手法を専攻していました。仙台から遠距離通学をしており、友人の家に泊まって遊んだり、研修旅行に参加したりしたのがよい思い出となっています。

視覚障害者に関わる前は、「可哀想・気の毒」といったネガティブなイメージがありましたが、ブラインドサッカーとの出会いでその考えは180度変わりました。

とにかくすごい。アイマスクを着けた選手たちが音の鳴るボールを奪い合いゴールを狙い、守る。やっтерことはまさにサッカーです。

視覚から情報を得られないので、「言葉でのコミュニケーション」と「イメージの共有」が重要になってきます。練習の際も、見えない選手に戦術などを伝える際には背中や指でピッチを描いてあげてイメージさせたりします。そうして言葉を繋ぎ、イメージを共有し生まれるゴールはとても素晴らしいものです。

ブラインドサッカーもそうですが、「コミュニケーション力」はとても大事なスキルです。ネットやSNSでのつながりも多い世の中ですが、やはり最後は「人対人」だと思います。学生の皆さんも、多様な今のこの世界で、様々な人との繋がりを大切に毎日過ごしていただきたいと思います。

2020年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

この大きなイベントを契機に、ブラインドサッカーの更なる発展と、視覚障害者と健常者が「当たり前」に混ざり合う社会に向けてより一層働きかけていきたいと思います。

